

平成27年度高松市伝統的ものづくり振興事業報告・決算
【決算額 10,065,408 円】

1 伝統的ものづくり振興審議会開催経費 【事業費 92,728 円】

開催実績 3回 (5/22・7/15・10/26)

2 伝統的ものづくり展示会等補助金 【事業費 2,560,000 円】

<普及啓発/事業者等に対する支援/販路開拓>

普及啓発・販路開拓等を目的とした、以下の展示会に対し、助成を行った。

- ・香川の家具とぬりもの新作見本市補助金 1,500,000 円
 <来場者：約3,000名>
- ・あじストーンフェア補助金 500,000 円
 <来場者：約13,000名>
- ・全国漆器展補助金 40,000 円
 <来場者：約6,000名>
- ・香川の漆器まつり補助金 520,000 円
 <来場者：約2,800名>



3 伝統的ものづくり夏休み親子体験教室 【事業費 525,000 円】

<普及啓発>

市の実施する夏休み親子体験講座を取りまとめたチラシに本事業も掲載し、小学校全校に配布し、はがきにより募集を行った。応募者総数447組（倍率約3倍）より、抽選を行い、各コース親子15組×2回（午前・午後）実施した。

	コース	子供	大人	計	場所
①	菓子木型を使った和三盆・練りきりづくり体験 (7/29)	28名	21名	49名	市役所3階 32会議室
②	イ草を使ったミニゴザづくり体験【小4以上】 (7/29)	28名	25名	53名	
③	讃岐のり染め藍染めハンカチづくり体験 (7/30)	25名	20名	45名	高松市埋蔵 文化財センター 2階講座室
④	五葉松の苔玉づくり体験 (8/10)	27名	20名	47名	
⑤	讃岐かがり手まりづくり体験【小4以上】 (8/11)	26名	22名	48名	
	計	134名	108名	242名	



4 伝統的ものづくり学校巡回教室

【事業費 1,001,020 円】

<普及啓発>

高松市内の希望のあった小中学校にて、以下のとおりの3コースの学校巡回教室を開催した。直接作り手の方から教わることのできる貴重な体験であり、学校巡回教室の後、伝統的ものづくりについて生徒が調べた内容を講師へフィードバックする例もあり、実績を残している。

	コース	小学校数	中学校数	小学校 参加人数	中学校 参加人数	計
①	香川漆器コース	5校	1校	129名	15名	144名
②	庵治石コース	3校	2校	126名	34名	160名
③	讃岐かがり手まりコース	0校	2校 (家庭科部会)	0名	56名	56名
	計	8校	5校	255名	105名	360名



5 伝統的ものづくり人材育成県外派遣事業

【事業費 532,450 円】

<人づくりの推進/事業者等に対する支援>

平成27年10月8日～10日の2泊3日、高松市内の伝統的ものづくりに関わるメンバー7名を金沢市へ派遣した。

メンバーは、金沢市内の作り手や売り手を訪問し以下の点についてヒアリングを行い、今後の自身の活動の参考とした。

- ・体験教室やクラフトツーリズム等の事業者へ事業実施までの過程や実施後の課題等のヒアリングを行う。
- ・お土産品としての販売店や町屋等をリノベーションし、工房兼ショップのような運営をしている事業者へ事業実施過程や実施後の課題のヒアリングを行う。
- ・後継者育成としての弟子制度等活用している事業者へのヒアリングを行う。

本事業の実施を通じて、伝統産業や地場産業を支える担い手が、危機意識の共有や意見交換を行うことにより、異業種間の交流の価値を認識し、今後の新たな可能性や取組に向けた動きへつながっていくことが期待される。



6 ミラノ万博盆栽トップセールス事業

【事業費 4,356,510 円】

＜普及啓発/販路開拓＞

ミラノ国際博覧会日本館 香川県出展事業へ、高松市も共催し、盆栽のパフォーマンス（ステージショー及び展示エリアでのデモンストレーション）や市長自らのトップセールスを行った。また、盆栽バイヤーへのPRを行い、EU圏への盆栽の輸出の拡大の意思を伝えるとともに、来高への誘客を行った。その結果、平成27年10月に表敬先であるクレスピボンサイ社が来高し、産地において商談を行った。

日程	平成27年8月29日～9月1日
催事名	ミラノ国際博覧会日本館（香川県出展）
高松市担当	職人芸！！ Bonsai LIVE ショー

来場者へのアンケート結果を見ると、香川県を知っていた人は12.6%であり、本事業により興味関心度は上昇し、行ってみたいと回答した人は95.7%であった。また、盆栽についての興味の度合いも高く、香川県展示はもちろんであるが、日本館入口での大きな盆栽の展示や、専属通訳を配置し、十分な説明や、職人のデモンストレーションを随時実施できたことは効果的だったと考える。

＜来場者数＞

	8/29	8/30	8/31	9/1	計
日本館来場者数	6,843名	6,647名	6,821名	6,612名	26,923名
香川県催事来場者数	3,170名	3,490名	3,360名	2,370名	12,390名
BONSAI LIVE ショー	131名	88名	54名	79名	352名



7 伝統的ものづくり事業者対象 企画展示セミナー 【事業費 997,700 円】

<事業者等に対する支援/普及啓発/販路開拓>

異業種間のつながりをつくること、伝統的産業にたずさわる方の学びの場をつくること、さらにそれを市民に共有してもらうひとつの場として、企画展示セミナーを開催した。企画展示では、販売スペースと人材育成県外派遣事業に参加したメンバーを中心とした空間展示を実施した。

また、デザイナー、クリエイティブディレクターとして国内外で幅広く活躍されている柳原照弘氏（高松市出身）を講師にセミナーとディスカッションを開催した。

□ 企画展「高松のものづくりを本気で考える。」

日 時	平成28年2月18日（木）～25日（木）10：00～20：00
場 所	IKODE 瓦町アートステーションギャラリー（瓦町FLAG8階）

販売事業者が、会場に在廊する機会や実演・ワークショップの機会を設けたことで、細やかな説明ができ、来場者の満足度は高かった。また、展示作業、開催期間を通じた、伝統的ものづくり事業者だけに限らない事業者間のつながりの場となった。

<来場者数>

	2/18 （木）	2/19 （金）	2/20 （土）	2/21 （日）	2/22 （月）	2/23 （火）	2/24 （水）	2/25 （木）	計
集客数	86名	113名	143名	164名	60名	42名	56名	62名	726名

□ セミナー&ディスカッション「POST CRAFTS さまよえる工芸の未来」

日 時	平成28年2月19日（金）14：00～17：30 14：10～15：40 事例説明 16：00～17：20 ディスカッション
場 所	IKODE 瓦町アートステーション多目的スタジオ（瓦町FLAG8階）
参加者	46名

セミナーは、有田焼プロジェクトで取り組んでいる事例等、ターゲットや売り先に絞り込んだ商品づくり、売り場づくりの紹介があり、参加者自身の振り返りにもつながった。また、ディスカッションは、講師が事業者から、個別の課題について、講師が事業者から引き出す等、参加者が主体となり実施された。

